

令和 5 年舞鶴市議会 3 月定例会

一般質問資料

[南 正弘 議員]

舞鶴市小中一貫教育全体構想図

「人を育てる」舞鶴の小中一貫教育

～ふるさと舞鶴を愛し 夢に向かって 将来を切り拓く子どもの育成～

0歳から15歳までの切れ目ない、
質の高い教育を目指します。

小中一貫教育で目指すこと

- (1)義務教育9年間で修了するのにふさわしい学力の定着
- (2)豊かな人間性や社会性の育成
- (3)小中教職員の協働による9年間を見通した一貫性・継続性のある指導

小中一貫教育の進め方

- (1)9年間で4・3・2の教育区分として、9年間を見通したカリキュラムを編成し、小中学校が共通の教育目標を設定する。
- (2)9年間を見通した系統的・継続的な標準カリキュラムを作成し、それぞれの学年で身に付けなければならない力を付け切る取組を展開する。
- (3)「舞鶴市教育委員会指定研究実践校」による「施設分離型」の小中一貫教育の実践をPDCAサイクルで検証しながら全市に広めていく。
- (4)学校・家庭・地域が協働できるよう、全中学校区に地域支援本部事業を立ち上げていく。

こんな学校だといいなあ

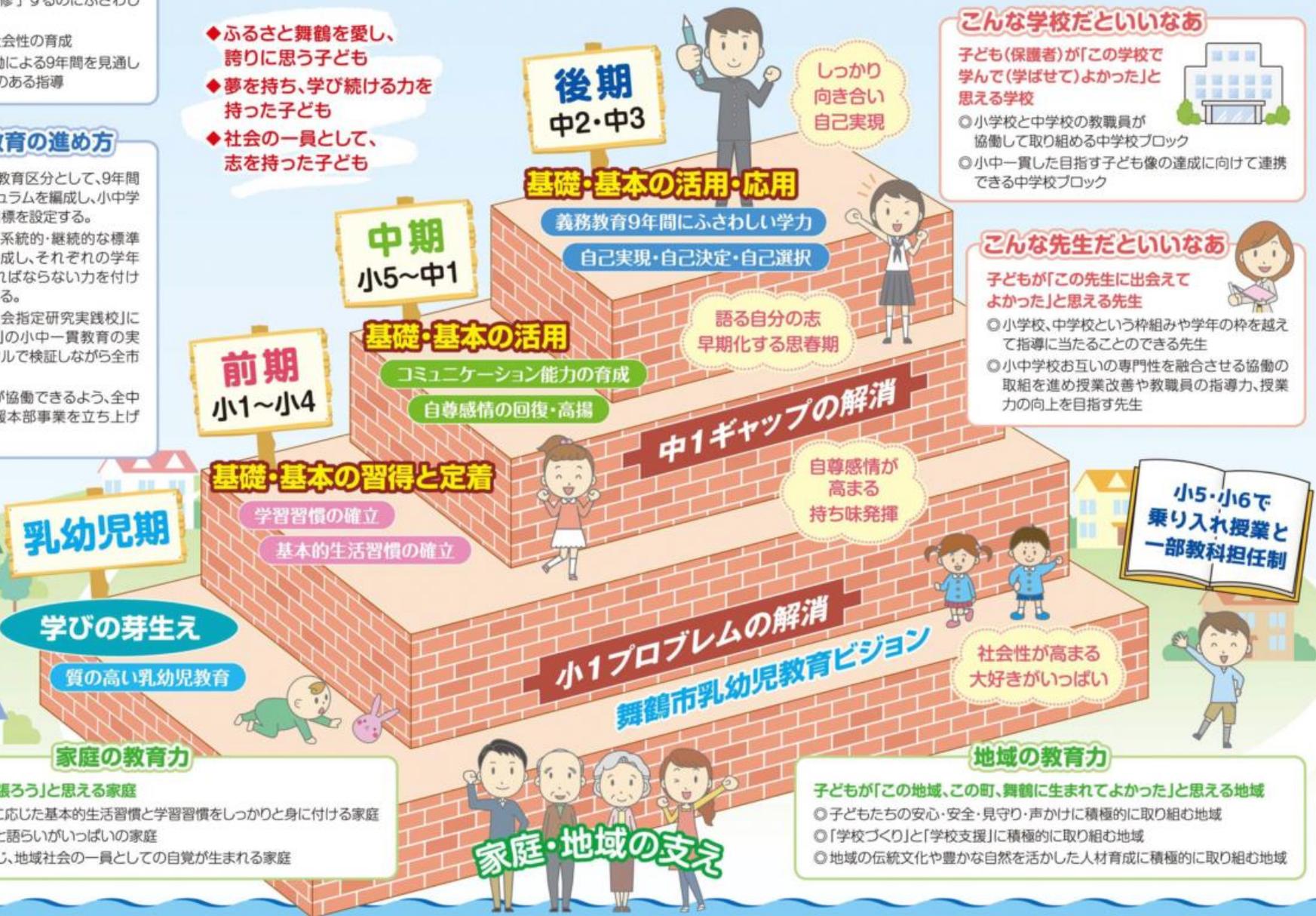
子ども(保護者)が「この学校で
学んで(学ばせて)よかった」と
思える学校

- ◎小学校と中学校の教職員が協働して取り組める中学校ブロック
- ◎小中一貫した目指す子ども像の達成に向けて連携できる中学校ブロック

こんな先生だといいなあ

子どもが「この先生に出会って
よかった」と思える先生

- ◎小学校、中学校という枠組みや学年の枠を超えて指導に当たることのできる先生
- ◎小中学校お互いの専門性を融合させる協働の取組を進め授業改善や教職員の指導力、授業力の向上を目指す先生



乳幼児期

学びの芽生え

質の高い乳幼児教育

家庭の教育力

子どもが「明日も頑張ろう」と思える家庭

- ◎子どもの成長段階に応じた基本的な生活習慣と学習習慣をしっかりと身に付ける家庭
- ◎子どもへの声かけと語りがいっぱいの家庭
- ◎家族の大切さを感じ、地域社会の一員としての自覚が生まれる家庭

基礎・基本の習得と定着

学習習慣の確立
基本的な生活習慣の確立

家庭・地域の支え

中期
小5～中1

基礎・基本の活用

コミュニケーション能力の育成
自尊感情の回復・高揚

地域の教育力

子どもが「この地域、この町、舞鶴に生まれてよかった」と思える地域

- ◎子どもたちの安心・安全・見守り・声かけに積極的に取り組む地域
- ◎「学校づくり」と「学校支援」に積極的に取り組む地域
- ◎地域の伝統文化や豊かな自然を活かした人材育成に積極的に取り組む地域

後期
中2・中3

基礎・基本の活用・応用

義務教育9年間にふさわしい学力
自己実現・自己決定・自己選択

小5・小6で
乗り入れ授業と
一部教科担任制

小1プロブレムの解消
舞鶴市乳幼児教育ビジョン

社会性が高まる
大好きがいっぱい

語る自分の志
早期化する思春期

自尊感情が
高まる
持ち味発揮

しっかり
向き合い
自己実現